

# 6年3組 社会科学習指導案

授業者 室野 秀幸

授業① 6年3組教室

## 1 単元名 世界に歩み出した日本

### 2 単元のねらい

・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，グラフ・絵・地図・年表などの資料で調べ，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを理解することができる。

・調べたことを年表や文などにまとめ，我が国の国際的地位が向上したことを理解することができる。 【知識及び技能】

・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて考え表現することができる。

・日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを関連付けたり総合したりして，明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え，適切に表現することができる。

【思考力，判断力，表現力等】

・日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追求し，解決しようとする。 【学びに向かう力，人間性等】

### 3 教材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，グラフ・絵・地図・年表などの資料で調べ，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを理解している。	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して問いを見出し，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて考え表現している。	①日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追求し，解決しようとしている。
②調べたことを年表や分などにまとめ，我が国の国際的地位が向上したことを理解している。	②日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを関連付けたり総合したりして，明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え，適切に表現している。	

### 4 社会科で重点的に育成を図る資質・能力とその手だて

好奇心	新しい事象に出合ったときに，既習や生活経験と関連付けて考え，自ら課題を発見し，解決しようとする。 ①既習との違いを明確にする。 ②子どもの思いを引き出す資料を提示する。
-----	--

情報を収集・整理・分析する力	資料から正しい情報を読み取ることができる。 多面的・多角的に考え、収集した情報を整理して、自分の考えを深めたり、新たな考えを見出したりすることができる。 ①子どもの必要感に合わせた資料を準備する。 ②子どもの心を揺さぶる資料や発問を工夫する。
伝える力	根拠を明確にして自分の考えを伝えることができる。 ①資料を根拠として活用できるように、話型を提示する。 ②「分かること」と「考えられること」を整理させる。

## 5 指導にあたって

### (1) 教材観

本小単元は、明治時代中期から大正時代にかけて、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを通して、我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことを理解することをねらいとしている。日本は開国以降、欧米の文化を取り入れながら、近代国家としての政治や新たな仕組みを整えてきた。しかし、この時代になっても、欧米諸国との力関係は江戸末期と変わらず、不平等条約を結んだことで、国益を失うことや人種差別的行為を受けるなど日本の安全が脅かされる事態となった。そんな厳しい国際関係の下、日本は2つの大国との戦争で勝利を収め、悲願である条約改正を達成する。また、国内では科学や産業で大きな発展を遂げる。これらの歴史的事象を調べることで、日本の国際的地位がどのように向上したか、また努力した人々の願いや思いに迫ることができる。

一方で、本小単元では、国際的地位の向上のために日本が行った、朝鮮における植民地政策や国内の社会問題などにも目を向けることができる。今後、学習する太平洋戦争や日本の戦後復興などにもつながる小単元として位置づいている。

### (2) 児童観

これまでの授業では、学習問題に立ち返ることや、子どもの認識と事実のずれや矛盾などを大切しながら学習を進めてきた。また、単元の最後にはその時代を俯瞰し、時代のイメージを一言でまとめたり、現在の日本が大切にしている原則とのつながりについて考えたりしている。

好奇心については、授業の導入時に提示した資料を根拠に考えたことや思ったことを発言する子どもの姿は見られる。しかし、その発言の内容は、その場で思いついた内容が多く、既習を生かした内容や年表から考えられることなど、根拠が明確になっていないものが多い。単元を通して「考えたい」「解決したい」という学習意欲が十分に高まっていないと言える。

情報を収集・整理・分析する力については、自分の予想をもち、資料や教科書から「分かること」とそこから「考えられること」を交流する学習展開を行ってきた。また、授業の後半には、歴史上の人物の願いや思いについて考えてきた。予想をもつことや調べ学習を行うことはできている子どもは多いが、「考えられること」や「歴史上の人物の願いや思い」など、自分なりの解釈を加えて表現することができる子どもは一部である。

伝える力については、根拠を明確にすることを重点的に指導してきた。その結果、「教科書〇ページ目を見てください。そこに～と書いてあります。」という話し方がどの子どももできるようになってきた。しかし、「分かること」の根拠は言えるが、「考えられること」の解釈まで意識して発表している子どもはそれほど多くない。

### (3) 指導観

第一次では、世界の中でも立場が低かった日本が不平等条約を改正することができるようになったことを捉えさせたい。そのため、単元導入では、ノルマントン号事件について扱う。この事件を通して、子どもは日本の置かれていた立場を知ると同時に、当時の人々の思いや願いについてもつかめると考える。そのために、ノルマントン号事件の風刺画を提示し、風刺画から自分たちの考えを出し合い、事実認識をもたせる場を設定する(好②)。さらに、事件は1858年に結んだ不平等条約が大きく影響していることを既習の年表や掲示等を確認しながら気付かせる。1911年に日本は悲願である条約改正を達成している。ノルマントン号事件からおよそ25年の間に日本はどのような努力をしたのか、年表を根拠に予想をし、これまで学習した国内の近代化だけでなく、国外に対しておこなっていることにも気付けるように板書に位置付ける。欧米諸国との関係の変化が条約改正に影響しているという、今後の学習の見通しとなる視点をもつことができるようにする(好①)。

第二次では、「産業の発展」「日清・日露の戦争」「植民地」「科学の発展」について調べることが主な学習内容となる。子どもの必要感に応じて、写真や地図、年表、文章などの各種資料を読み取る活動を取り入れ、歴史的事象を正確に調べさせたい(情①)。また、人物の思いや願い、活躍に迫り、時代背景についても考察を深めさせたい。そのために、資料にある具体的な数値などは見せ方を工夫することで、それぞれの立場から物事を捉えたり、当時の人々の立場になって考えたりすることができるようにする(情②)。交流の場面では、「日本は、～をしている。このことで、～になった(変わった)と思います。」のように根拠と解釈をセットにした話型を提示して、本時の課題や学習問題に対する自分の考えを述べられるようにする(対①)。ペアやクラス全体での交流を通して、多様な考えに触れ、学びの変容や深まりを期待する。また、多角的な見方を育成するために、条約改正に尽力した人物や国民など様々な立場の人の思いや願いについても問う。物事を様々な角度から考えることで、日本の国力が充実し、国際的地位が向上していった時代を子どもなりに概観できるようにする。

第三次では、単元のまとめとして、学習問題「日本は条約改正に向けて、どのような努力をしたのだろうか」という問いで人物カードに調べたことをまとめて交流する。人物のしたことに加えて、具体的な努力や願いについても書くよう指導する。交流を通して、多様な考えに触れられるようにする。

## 6 単元計画

次	時	学習活動	・9つの資質能力の育成に關する手だて	評価
一	1	<p>&lt;日本は世界からどのように見られていたか&gt; (本時)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ノルマントン号事件では、不平等な条約のために日本に不満の残る判決となった。日本は世界から、低い立場に見られていた。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習問題 日本は条約改正に向けて、どのような努力をしたのだろうか。</p> </div>	<p>・近代化を図った日本の立場を予想した後に、ノルマントン号事件の風刺画を提示して、日本の国際的な立場の低さに気づかせる。(好②)</p> <p>・ノルマントン号事件の後に条約改正を達成した事実を伝え、条約改正に向けた努力(国内・国外)に着目できるようにする。(好①)</p>	思①

二	1	<p>&lt;日本はどのように国づくりを進め、世界に歩み出していったのか&gt;</p> <p>製糸業と紡績業などの産業を盛んにし、近代的な国づくりを進めた。また、陸奥宗光が領事裁判権をなくした。</p>	<p>・産業や工業の発展が、条約改正とどのようなつながりがあるのか自分なりの考えを表現する。 (伝②)</p>	知①
	2	<p>&lt;二つの戦争によって、日本と世界の国々との関係は、どのように変わったのか&gt;</p> <p>二つの戦争によって、多くの犠牲が出たが日本は欧米諸国に力を認めさせた。一方で、朝鮮や中国の人々を下に見るようになった。</p>	<p>・2つの戦争の「相手」「原因」「結果(得たもの)」を適切に読み取り、日本と世界の国々との関係の変化について表現する。 (情①)</p>	知①
	3	<p>&lt;力を認められた日本と外国の関係はどうなっていったのか&gt;</p> <p>小村寿太郎が条約改正に成功し、欧米諸国と対等な関係を築くことができた。また、医学などの発展で国際的地位の向上が図られた。</p>	<p>・日本の国際的地位の向上に尽力した人々の思いや願いに加え、植民地とされた朝鮮学校の人たちの思いについても考える。 (情②)</p>	知①
	4	<p>&lt;産業の発展によって、人々の生活や社会はどのように変化したのか&gt;</p> <p>都市部を中心に近代的な生活に変化した。しかし、社会的な問題も多く、人々の民主主義への意識が高まり、多くの運動が起こった。</p>	<p>・産業の発展によって、人々の生活は良くなったのか、悪くなったのか思考ツールを活用して整理したことを交流する。 (伝①)</p>	知①
三	1	<p>&lt;日本は、条約改正に向けてどのような努力をしてきたのか&gt;</p> <p>条約改正に向けて、国外では2つの戦争の勝利、国内では産業や医学の発展など多くの努力があった。世界も日本の力を認めて、国際的地位の向上が図られた。</p>		知② 思② 主①

7 本時の学習 第一次中 1時

(1) 本時のねらい

資料から条約改正の必要性に着目して学習問題を考え、条約改正に向けた努力を、年表をもとに予想することができる。 【思考力・判断力・表現力等】

(2) 学習の展開

時	主な学習活動と子どもの思考の流れ ○教師の発問 ・予想される子どもの思考	・指導 ◎評価 ★9つの資質能力の育成に関わる手だて
8	<p><b>1. 前小単元についてふり返り，本時の課題を確認する</b></p> <p>○日本は近代化を図るために何をしたかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徴兵令として，軍隊入隊を義務づけました。</li> <li>・地租改正で，収入を全て現金に変えました。</li> </ul> <p>&lt;日本は世界からどう見られていたのかな&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富国強兵や文明開化をしたので，ある程度は世界の国から認められていたと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題につなげるため，前小単元の復習をして板書に残す。</li> </ul>
20	<p><b>2. ノルマントン号事件について考え，詳細について知る</b></p> <p>○1886年に起きた事件です。どんな事件かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船に外国の国旗がある。もしかしたら，日本人は助けてもらえなかったのではないかな。</li> <li>・海に溺れている人がいる。髭がないので，なんだか日本人に見えます。</li> <li>・日本人を一人も助けないなんて許せません。</li> </ul> <p>○どうしてこんな軽い罪で済んだのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に結んだ不平等な条約が関係していると思います。</li> </ul>	<p>★近代化を図った日本の立場を予想した後に，ノルマントン号事件の風刺画を提示して，日本の国際的な立場の低さに気づかせる。(好②)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物の様子や日本と外国との立場の違いに気づくことができるようにするために，端末を使って共有する。</li> </ul>
2	<p><b>3. 学習のまとめをする</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ノルマントン号事件では，不平等な条約のために日本に不満の残る判決となった。日本は世界から，低い立場に見られていた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再度日本の国際的な立場について問い，その結果をもとに本時のまとめにつなげる。</li> </ul>
15	<p><b>4. 学習問題を考え，予想する</b></p> <p>○年表を見て，気がつくことはあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1911年に条約改正を達成している。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題 日本は条約改正に向けて，どのような努力をしたのだろうか。</p> </div> <p>○年表から考えられることを予想しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清やロシアと戦争をしています。徴兵令をさらに強化して戦争に勝ち，日本の力を高めたのだと思います。</li> <li>・日英同盟を組んでいます。当時強かったイギリスの仲間入りをして，条約改正に成功したのだと思います。</li> </ul>	<p>★ノルマントン号事件の後に条約改正を達成した事実を伝え，条約改正に向けた努力（国内・国外）に着目できるようにする。(好①)</p> <p>◎世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して問いを見出し，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて考え表現している。【思考・判断・表現】 (発言・ノート)</p>

